

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	身体文化コミュニケーション論		
英文授業科目名	Communication of Physical Culture		
開講年度	2005年度	開講年次	3年次
開講学期	5学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	大鋸 順		
居室	東1-403		

公開E-Mail	授業関連Webページ

<p><b>【主題および達成目標】</b></p> <p>本科目は、大学院の科目と整合性を持たせるために科目名を変えたものであり、平成16年度受講者は文化・スポーツ産業論として講義を行う。したがって、文化・スポーツ産業論の単位が取得できる。</p> <p>主題：経済活動がなければ生きていけないが、文化の土壌なしには生きていく意味がない。これは、文化経済学の基本的なスタンスである。スポーツを含め日常生活の中にある様々な文化は、“楽しみの系（文化の系）”であり、生活を豊かにし、生きることの喜びを与えてくれる。文化の創造と継承をめぐってどのような経済活動が展開されているのであろうか。スポーツをめぐる経済活動を中心にしながら他の文化活動についても分析し、文化の経済的価値や文化産業の特徴について考える。</p>
---

<p><b>【前もって履修しておくべき科目】</b></p> <p>特になし</p>
--

<p><b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b></p> <p>経済学</p>
--

<p><b>【教科書等】</b></p> <p>教科書：大鋸順著（1999）「スポーツの文化経済学」（芙蓉書房出版）</p> <p>参考書：池上惇・植木浩・福原義春編著「文化経済学」（有斐閣）、商業統計表など各種経済白書、M.J. Robinson, M.A. Hums, R.B. Crow &amp; D.R. Phillips: "Profiles of Sport Industry Professionals",</p>
---

Aspenなど。

**【授業内容とその進め方】**

テキストを使った講義と、様々な経済活動の資料やアメリカのスポーツ産業の文献を分析し、それらをまとめてプレゼンテーションを行う。

第1回：オリエンテーション

第2回：文化経済学的思考

第3回：企業と文化

第4回：経済の基本的考え方

第5回：マーケティングの基本的考え方

第6回：スポーツ需要

第7回：文化・スポーツ振興システム

第8回：スポーツ振興の経済

第9回：スポーツ市場の経済

第10回：スポーツ組織の経済

第11回：スポーツを支える人々

第12回：文化・スポーツと社会・経済システム

第13回：NPOとスポーツ

第14回：テスト

その他：東京スタジアムの見学？

## 電気通信大学 平成17年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席状況、プレゼンテーション、レポート及び試験を総合的に評価する。

受講生は、少なくとも1回のプレゼンテーションを行う。

### 【オフィスアワー：授業相談】

月曜日：午後

水曜日：午後

金曜日：午後

適宜相談に応じるが、電話やメールなどで事前にアポイントを取ること。

### 【学生へのメッセージ】

スポーツや文化、ビジネスや産業に関心のある学生の受講を希望する。

### 【その他】